2022年5月13日

受益者の皆様へ

岡三アセットマネジメント株式会社

当社投資信託の基準価額の下落について

米国株式市場の下落、為替市場での米ドル安円高の動きを受けて以下の当社投資信託の2022年5月13日の基準価額が大きく下落しましたので、お知らせいたします。

○ 基準価額および前営業日比（5月13日現在）

ファンド名	愛　称	基準価額（円）	前営業日比（円）	前営業日比（%）※
米国ネクストビジョンファンド（為替ヘッジあり）	―	6,083	-343	-5.34
米国ネクストビジョンファンド（為替ヘッジなし）	―	6,846	-522	-7.08

※ 前営業日比（%）は、分配金がある場合、分配金を加算して算出した騰落率
（注）インデックス型ファンド、ブル・ベア型ファンド及びＤＣを除く

○ 基準価額の主な変動要因

【米国株式市場の下落と米ドルの下落（対円）】

5月11日ならびに5月12日の米国株式市場は、景気後退懸念が強まったことから値動きの荒い展開となりました。標記ファンドで組入銘柄が多いテクノロジー株等が多くを占めるナスダック総合指数は、5月11日は3.18%下落、5月12日は引けにかけて値を戻したものの、日中は一時2.25%下落する展開となりました。また、為替市場では日米の金利差拡大観測が後退し、一時128円割れまで米ドル安円高が進行しました。

【主な指数および為替（対円相場）の動き】

指数および為替	5月10日	5月11日	5月12日
NYダウ工業株30(ドル)	32160.74	31834.11	31730.30
（前営業日比）		▲1.02%	▲0.33%
S&P500種	4001.05	3935.18	3930.08
（前営業日比）		▲1.65%	▲0.13%
ナスダック総合	11737.67	11364.24	11370.96
（前営業日比）		▲3.18%	0.06%
米ドル/円	130.45	129.97	128.34
（前営業日比）		▲0.37%	▲1.25%

（出所）Bloombergデータより岡三アセットマネジメント作成

「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)」、「同（為替ヘッジなし）」の投資対象である「JPモルガン・ファンズ―USテクノロジー・ファンド（Iクラス）（円建て、円ヘッジ）」、「JPモルガン・ファンズ―USテクノロジー・ファンド（Iクラス）（円建て）」はルクセンブルグ籍の外国投資法人であり、基準価額の算出における保有銘柄の評価価格はニューヨーク株式市場の引け値ではなく、日中の価格を採用しています。「米国ネクストビジョンファンド(為替ヘッジあり)」、「同（為替ヘッジなし）」の2022年5月13日の基準価額においては、5月11日の日中から5月12日の日中までの株価と為替の動きが反映されます。

以　上

皆様の投資判断に関する留意事項

【投資信託のリスク】

投資信託は、株式や公社債など値動きのある証券等（外貨建資産に投資する場合は為替リスクがあります。）に投資しますので、基準価額は変動します。従って、投資元本が保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。
投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた損益は、すべて投資者の皆様に帰属します。

【留意事項】

- 投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込みの受付が中止となる可能性、換金代金の支払いが遅延する可能性があります。
- 投資信託の収益分配は、各ファンドの分配方針に基づいて行われますが、必ず分配を行うものではなく、また、分配金の金額も確定したものではありません。分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間における ファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。

【お客様にご負担いただく費用】

■ お客様が購入時に直接的に負担する費用
購入時手数料：購入金額 （購入価額×購入口数） ×上限3.85%（税抜3.5%）

■ お客様が換金時に直接的に負担する費用
信託財産留保額：換金時に適用される基準価額×0.3%以内

■ お客様が信託財産で間接的に負担する費用
運用管理費用（信託報酬）の実質的な負担 ：純資産総額×実質上限年率2.09%（税抜1.90%）
※実質的な負担とは、ファンドの投資対象が投資信託証券の場合、その投資信託証券の信託報酬を含めた報酬のことをいいます。なお、実質的な運用管理費用（信託報酬）は目安であり、投資信託証券の実際の組入比率により変動します。

その他費用・手数料

監査費用：純資産総額×上限年率0.0132%（税抜0.012%）
※上記監査費用の他に、有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用、海外における資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息、借入金の利息等を投資信託財産から間接的にご負担いただく場合があります。
（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

● お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額若しくはその上限額又はこれらの計算方法を示すことはできません。

【岡三アセットマネジメント】

商　　号：岡三アセットマネジメント株式会社
事業内容：投資運用業、投資助言・代理業及び第二種金融商品取引業
登　　録：金融商品取引業者　関東財務局長（金商）第370号
加入協会：一般社団法人 投資信託協会／一般社団法人 日本投資顧問業協会

上記のリスクや費用につきましては、一般的な投資信託を想定しております。各費用項目の料率は、委託会社である岡三アセットマネジメント株式会社が運用する公募投資信託のうち、最高の料率を記載しております。投資信託のリスクや費用は、個別の投資信託により異なりますので、ご投資をされる際には、事前に、個別の投資信託の「投資信託説明書（交付目論見書）」の【投資リスク、手続・手数料等】をご確認ください。

＜本資料に関するお問合わせ先＞
フリーダイヤル **0120-048-214** （9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）